

深セン国際知的財産セミナー

2012年3月26日（月）中国の有力特許事務所主催のもと国際知的財産セミナーが、世界から益々注目を集める産業都市、深センにおいて開催され、中国華南地方の企業関係者を中心に約200名の参加を得て盛大に行われました。弊所所長弁理士葛和清司は、講演者の一人として招待され、米国、欧州、韓国からの講演者とともに約1時間“*Current IP environment in Japan and Global IP strategy of Japanese industries*”と題して、日本を含む先進諸国の中国への産業進出・知財進出の歴史的変遷と、現在の日本の知財環境およびその中で日本企業が抱える問題などを中心に英語で講演しました。知財分野でも急成長をみせる中国だけあって、当日は中国企業の知財関係者から各国の特許制度・権利行使についての具体的な質問が相次ぎ、また会場には地元のテレビ局の取材が入るなど、知財への関心の高さを窺わせるものでした。

